

議会活動のデジタル化を推進しています

コロナ禍においても議会としての権能発揮を継続できるよう、大津市議会ではオンライン会議システムを活用した議会活動を推進しています。

議会防災訓練

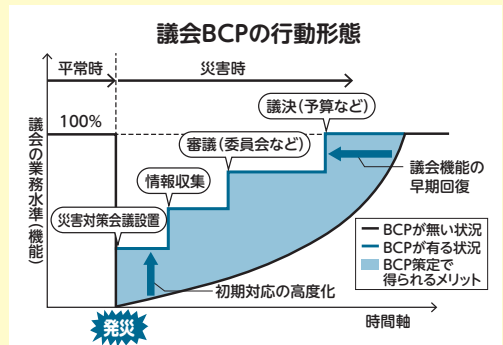
大津市議会では議会BCP(業務継続計画)に基づき、議会防災訓練を毎年度実施しています。

今回は、感染症まん延延期に地震が発生したとの想定のもと、BCPに基づく行動確認と、議会災害対策会議をオンラインで開催する訓練を行いました。



災害などの緊急事態発生時に重要業務が中断しないよう、また万一中断した場合も迅速に再開できるように、復旧対策の手立てを事前に策定しておく計画のことです。

大津市議会では、災害時の議員や職員の行動指針をあらかじめ定めておくといった災害初期対応の高度化により、議会機能の早期回復に努めています。



①本部

議員や職員、家族の安否確認と、自宅等の周辺の被災情報を収集

②現場

被災現場と本部をオンラインでつなぎ、議員が現地から中継報告

③オンライン災害対策会議

収集した情報の共有と議会としての対応について協議



ニュース映像は
こちらから



各種団体や若者との オンライン意見交換会

定期的に行ってきた各種団体とのワークショップ形式の意見交換会を、オンラインに変更して実施しました。

また、議会における主権者教育の一環として、高校生との意見交換会もオンライン形式で新たに実施しました。



高校生との意見交換会

市医師会との意見交換会



オンライン 常任委員会

感染症拡大などによる参集困難時でもオンラインで委員会を開けるよう、議員や職員がそのスキルを高めることを目的に、4つの常任委員会でオンライン委員会を実施しました。また、委員会資料を市議会ホームページで事前公開することにしました。



議長公約「オンライン会議の実現」と「開かれた議会の実現」について、議会全体で取り組みを達成することができました。

コロナ禍への柔軟な対応が、議会機能のさらなる充実につながったと感じています。



オンライン本会議実現へ向けた 国への要望活動・意見書提出

オンラインでの本会議開催を実現するためには、法律の改正が必要となることから、国に対して法改正を求める意見書を2回提出するとともに、総務大臣などと面会し、要望活動を行いました。

意見書の内容は
こちらから



議長 桐田 真人

〔問〕 大津市議会局
Tel.077-528-2640

お問い合わせフォーム



おおつ市議会だよりでは、ユニバーサルデザイン(UD)の考えに基づいた見やすいデザイン文字を採用しています。

おおつ市議会だより
令和4年5月1日